

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立清水特別支援学校 P T A					
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	243人				

1. 使用状況

寄贈物品名	長胴太鼓
使用学年及び人数	中学部1、2、3学年生徒(58名)
使用頻度	3学年、週1回程度、音楽の時間に使用。
使用状況	<p>令和7年度は3学年が交代で太鼓を題材にしています。中3は、音楽「リズム」についての学習で、生徒がリズムを考え長胴太鼓やパーラックをつかって演奏をしています。中2は、地域の「飯田まつり」での演奏や、静岡県中学校文化連盟総合文化祭ステージ発表(オンライン部門)、静岡北特別支援学校との交流などで発表に取り組んできました。中1は、「リズム」についての学習で、リズム打ちなど取り組んでいます。また、本校の職員の中に、太鼓の演奏活動をしている者がおり、ミニ演奏会や壮行会などで長胴太鼓を使用して演舞披露をしています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>太鼓は、子どもたちにとっても馴染みがあり、自分から手を伸ばして音を出したり触れたりする姿が引き出せる楽器です。リズムでは打楽器を使用することで、生徒たちはより興味を持って取り組むことができました。本校のある静岡市清水区には「お日待ち太鼓」という演奏があり、中学部2年生は地域の「たちばな蜂文未会」の方を講師に招聘し教えて頂きました。そして、飯田地区の「飯田まつり」で演奏を披露するなど、太鼓を介して地域と関わる機会の創出にもつながっています。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>生徒が和太鼓に親しんだり、外部の和太鼓演奏者を招聘して習い地域のまつりなどで披露したりすることは達成できました。今後も、継続して太鼓の演奏に取り組んだり、地域のイベントなどで披露したりする活動を計画できるようにしていきたいです。</p>
その他希望や所感など	<p>キャスターの付いた台座のおかげで、移動などもスムーズに行うことができます。管理では劣化防止のために毛布を被せて直射日光が当たらない場所で保管しています。特に問題もなく、学習で活用ができています。</p>

2. 活用の様子

中3 活動の様子



中2 活動の様子



たちばな蜂文未会の佐々木様を招聘し、地域の「お日待ち太鼓」を教えていただきました。



第45回飯田まつりにて、たちばな蜂文未会のみなさんと「お日待ち太鼓」の演奏に取り組みました。